

大垣市南部学校給食センターPFI事業審査委員会 委員長 審査講評

南部学校給食センターPFI整備運営事業は大垣市における初めてのPFI事業であり、多くの民間事業者から関心をいただき、最終的には4グループから提案書を受けた。

各グループからの提案は、施設の建設、維持管理、運営等からなるライフサイクルコスト（LCC）において、市が従来方式で実施する場合に比べ、財政負担額が大幅に縮減されているとともに、民間事業者のノウハウによる公共サービスの向上が図られており、民間事業者の熱意、創意工夫、努力に対し深く感謝する。

本審査委員会の審議事項である「事業者及び事業提案書の審査」において、資格審査を通過した4グループを対象として、事業者選定基準に示す全ての評価項目について慎重な審査を行った。

その結果、シーテックグループによる提案を全会一致により、最優秀提案として選定するに至った。

シーテックグループは、事業計画、施設整備、維持管理、運営の各提案について最高得点を得るような優れた提案であるとともに、事業期間を通じた公有財産購入費、委託料の大幅な削減が図られていた。市が本PFI事業において期待した、安全で衛生的な学校給食の提供、快適な調理環境の実現、適温給食の確実な提供、食に関する開かれた教育の場の提供、環境負荷の低減、ライフサイクルコスト（LCC）の低減を安定的かつ継続的に図ることにに関して、本提案は具体的には次の点が特に優れていた。

- ①給食PFI運営実績のノウハウを活かした事業計画
- ②衛生管理を恒常的に可能とする、詳細な点まで配慮された施設整備・維持管理計画
- ③天然ガス車を使用し、環境面に配慮された運営計画

なお、提案価格については、シーテックグループは2番目に高い得点の提案であった。

今後、市の落札者決定を経て、シーテックグループが設立する特別目的会社と市はPFI事業契約を締結することとなるが、シーテックグループに対しては、市の公共サービスのさらなる向上を図るため、次の点に努めるよう本審査委員会として切に期待したい。

- ①周辺の景観に配慮した建物外観の検討
- ②メンテナンス性を考慮した雨水調整池設置場所の検討
- ③煮炊き調理室、揚げ焼き室、和え物室の面積検討とダンボール冷蔵庫位置の改善
- ④多岐綿密な提案内容の確実な実施と効率的な事業運営
- ⑤業務運営上、市への過大な負担と費用の追加負担が生じないような配慮

平成20年3月

大垣市南部学校給食センターPFI事業審査委員会

委員長 森本博昭

南部学校給食センターPFI整備運営事業

客観的な評価の公表

平成20年3月

大垣市

I 大垣市南部学校給食センターPFI事業審査委員会の経過

大垣市南部学校給食センターPFI事業審査委員会（以下、「審査委員会」という。）は、本事業の募集要項の公表にあたり1回、提案審査において4回、審査講評について1回の計6回開催した。各回の開催日及び内容は下表の通りである。

なお、提案書審査にあたっては、内容審査において事前に提案書の内容を詳細に確認するとともに、提案の具体化、詳細化を確認することで評価が分かれる内容については、事業者への事前の質疑対応およびプレゼンテーションの質問回答を得た上で、審議、評価を行った。

内 容	開 催 日
第1回 審査委員会 (審査委員会の運営方法、スケジュール、要求水準について)	平成18年10月20日
第2回 審査委員会 (実施方針への質問、特定事業の選定について)	平成19年 2月 8日
第3回 審査委員会 (様式集、基本協定書、契約書について)	平成19年 5月23日
第4回 審査委員会 (審査手順、審査方法について)	平成19年 7月26日
第5回 審査委員会 (事業者プレゼンテーションの実施、審査採点について)	平成20年 2月23日
第6回 審査委員会 (審査講評について)	平成20年 2月28日

II 審査結果

1 資格審査

平成20年1月10日から11日に資格審査書類が提出された4グループの応募者に対し、事業者選定基準に基づく資格審査を行った結果、いずれの応募者についても、本事業の遂行に必要な資格要件及び遂行能力があること並びに提案価格が市の事業費限度額を超えていないことを確認した。

2 入札書類審査

(1)基礎審査

審査委員会は、資格審査を通過した4グループの応募書類の各様式に記載された内容が、要求水準を満たしているか否かを審査し、要求水準を全て満たしていることを確認した4グループを適格とした。

(2)内容審査

審査委員会は、基礎審査において適格とした応募者の審査書類について、要求水準を満たすための方法のみを確認するものではなく、応募者による要求水準以上の優れた提案内容に対して加点方式により、その提案内容が斬新で柔軟な発想によるものか、サービスの向上効果がより期待されるものか、実現性のあるものか等を専門的見地から審査し、提案の質的評価を得点化するための内容審査を行った。

内容審査では、下表に示す5段階により評価し、採点基準に基づき得点を算定した。

表 内容審査の採点方法

評価	評価内容	採点基準
5	特に優れている	配点×1.00
4	5と3の中間程度	配点×0.75
3	やや優れている	配点×0.50
2	3と1の中間程度	配点×0.25
1	要求水準は満たしているが、特に優れた提案はない	配点×0.00

(3)優秀提案の決定

審査委員会は、提案内容及び価格に関する審査をそれぞれ行い、それらを総合評価することにより総合評価値を算出し、総合評価値の最も高い提案を優秀提案に、次点の提案を次点提案として選定するものとした。

総合評価値の算出にあたっては、前掲した提案書等に記載された内容に対する評価の得点（満点600点：（事業計画140点、施設整備250点、維持管理70点、運営140点））と提案価格を以下の計算式で得点化した評価値（満点400点）との加算を行い、合計値である総合評価値（総合点：満点1,000点）に基づいて応募者の順位付けを行うものである。

なお、審査結果の詳細およびVFM評価結果については次表に示すとおりである。

表 入札書類審査 審査結果

応募グループ名		A	B	C	D
提案価格	400	376.36	344.88	400.00	310.47
内容審査	600	380.75	300.50	160.00	259.50
事業計画	(140)	112.50	62.50	22.50	50.00
施設整備	(250)	143.75	135.00	66.25	121.25
維持管理	(70)	39.50	35.50	26.25	23.25
運 営	(140)	85.00	67.50	45.00	65.00
総合評価値	1,000	757.11	645.38	560.00	569.97

表 VFM 評価結果

財政支出による削減効果（現在価値換算値：基準年 平成18年度）

（単位：千円）

①従来方式による大垣市財政支出	3,827,640
②PFI方式における大垣市財政支出	2,722,011
(①-②) PFI方式の導入による財政支出の削減効果	1,105,629 (28.89%)

Ⅲ 審査講評

事業者選定基準の審査項目に従い、各応募グループの提案内容について審査の視点で講評する。

1 事業計画

(1)事業実施方法

① Aグループ

- ・公益性の高い事業を本業とする代表企業を中心に、学校給食センターPFI事業を代表企業として複数経験した企業、配送面で本事業に適切な実績を有する運送企業、納入実績の多い調理器メーカーなどが参画し、本事業実施に向けて十分に適切な出資構成となっている。
- ・劣後融資を含めたコンソーシアム全体の資本のコミットメントも大きい。
- ・代表企業は、強固な財務基盤を有しているほか、事業全体の課題を精緻に理解し適切な対応を綿密に講じており、代表企業として本件事業に対する取り組み姿勢が明解である。
- ・代表企業以外の構成企業も、出資比率の高い企業を中心に財務基盤も問題ない。
- ・提案内容も高い品質が維持され、コンソーシアム全体の調整・統率をとりつつ、事業全般について横串の効いた一体性の高い提案がなされており、単純に担当企業ごとに役割分担しただけの提案より高く評価できる。

② Bグループ

- ・PFI事業の経験はないが本事業の特性・ニーズを詳細に把握している代表企業が、学校給食センターPFI事業を代表企業として複数経験している企業とともに中核の株主となって参画していること、配送面で同種PFI事業において配送実績を有する運送企業が入っていることなど、本事業実施に向けて十分に適切な出資構成となっている。
- ・劣後融資を含めたコンソーシアム全体の資本のコミットメントも大きい。
- ・代表企業は、比較的良好な財務基盤を有しており、事業実施上の課題を明確に理解しているほか、追加劣後融資を単独で負担するなど本件事業に対するコミットメントが強い。
- ・中核二社以外の構成企業の財務基盤も特段問題はない。

③ Cグループ

- ・代表企業は財務基盤も強固でPFI代表企業経験があるものの、劣後融資を含めた資本のコミットメントは金額・比率とも他グループの代表企業に比べてもかなり小さくなっており、不測の事態に備えた代表企業としての総合的な対応としては必ずしも十分とは言えない。
- ・代表企業以外の構成企業の財務体力は比較的高いものの、事業全般を通じコンソーシアム全体に横串の効いた綿密な事業実施体制の構築性は、やや確実性が低いものと判断した。

④ Dグループ

- ・代表企業は、強い財務基盤を有しているほか、本件と同分野ではないがPFI事業の代表企業経験をもち、食品関連分野の事業経験も有する点は高く評価できる。
- ・また比較的財務基盤が強固でない他の構成企業を補完する形で、同社単独で劣後融資枠を引き受けるなど、代表企業レベルでの本件事業コミットメントは相当に高い点は評価される。
- ・一方で、学校給食センター事業の性格・特殊性についての理解がよりきめ細かくなるとなお良い。

(2)資金計画

①資金計画の確実性（全グループ共通）

- ・資金調達の確実性という観点からは、A～Dグループとも、金融機関から適切に審査・交渉・確定した融資確約書が提出されていることなどが確認されており、本件事業の資金調達については大きな懸念がないことが確認できる。
- ・各グループから提出された収支計画・キャッシュフロー計画上も、事業に対する株主のコミットメント・資金調達確実性・融資返済確実性などについて大きな相違点を生じさせるほどの特段の懸念点や加点差異は認められなかった。

2 施設整備

(1-1)機能的で快適な施設

- 【評価の視点】 ①機能的な施設
②動線計画に配慮した施設

① Aグループ

- ・機能面では、門扉幅や自動車の進入路等に、やや優れた提案がなされていた。
- ・動線計画では、各動線の交差汚染回避、見学動線等に、やや優れた提案が見られた。

② Bグループ

- ・機能面では、自動車の進入路、ポケットパークの設置等に、やや優れた提案がなされていた。
- ・動線計画において、各動線の交差汚染回避、検収室への動線に、特に優れた提案がなされていた。

③ Cグループ

- ・機能面では、自動車の進入路等に、やや優れた提案がなされていた。
- ・動線計画において、各動線の交差汚染回避等に、優れた提案がなされていた。

④ Dグループ

- ・機能面では、自動車の進入路等に、やや優れた提案がなされていた。
- ・動線計画において、各動線の交差汚染回避、器具洗浄室等に、優れた提案がなされていた。

(1-2)安全で衛生的な施設

- 【評価の視点】 ①衛生的な施設
②安全な施設

① Aグループ

- ・衛生面において、エアカーテン、調理員用便所等に、優れた提案が見られた。
- ・安全面では、構造面や調理設備面で、やや優れた提案が見られた。

② Bグループ

- ・衛生面において、暗通路の設置や温度管理等に、優れた提案が見られた。
- ・安全面では、構造面や災害時の調理設備面で、やや優れた提案が見られた。

③ Cグループ

- ・衛生面では、衛生的な給水システムの提案は、特段加点すべき点が認められなかった。
- ・安全面では、構造面や災害時の調理設備面で、やや優れた提案が見られた。

④ Dグループ

- ・衛生面では、ゾーニング計画等に、やや優れた提案がなされていた。

- ・安全面において、構造面や災害時の調理設備面で、優れた提案が見られた。

(2)快適な調理環境の実現

【評価の視点】 ①優れた調理環境の実現

① Aグループ

- ・調理エリアにおける構造面、衛生面、安全面で、複数の優れた提案がなされていた。

② Bグループ

- ・調理エリアにおける構造面、衛生面、安全面で、複数の優れた提案がなされていた。

③ Cグループ

- ・調理エリアにおける構造面、衛生面、安全面で、やや優れた提案がなされていた。

④ Dグループ

- ・調理エリアにおける構造面、衛生面、安全面で、複数の優れた提案がなされていた。

(3)適温給食の確実な提供

【評価の視点】 ①優れた調理設備の実現

②優れた調理備品の確保

① Aグループ

- ・調理設備では、各調理設備機器において、2時間喫食面、安全面、衛生面でやや優れた提案がなされていた。
- ・調理備品では、食器・コンテナ等において、やや優れた提案がなされていた。

② Bグループ

- ・調理設備では、各調理設備機器において、2時間喫食面、安全面、衛生面でやや優れた提案がなされていた。
- ・調理備品では、食器・各備品類等において、やや優れた提案がなされていた。

③ Cグループ

- ・調理設備では、各調理設備機器において、2時間喫食面、安全面、衛生面でやや優れた提案がなされていた。
- ・調理備品では、食器・各備品類等において、特段加点すべき点が認められなかった。

④ Dグループ

- ・調理設備では、各調理設備機器において、2時間喫食面、安全面、衛生面でやや優れた提案がなされていた。
- ・調理備品は、食器・各備品類等において、やや優れた提案がなされていた。

(4)教育の場としての施設

【評価の視点】 ①教育の場に配慮した施設づくり

① Aグループ

- ・見学者への対応やその他の来訪者への対応において、複数の有効な提案がなされていた。

② Bグループ

- ・見学者への対応やその他の来訪者への対応において、やや優れた提案がなされていた。

③ Cグループ

- ・見学者への対応やその他の来訪者への対応において、特段加点すべき点が認められなかった。

④ Dグループ

- ・見学者への対応やその他の来訪者への対応において、複数の有効な提案がなされていた。

(5-1)地球環境に配慮した施設

【評価の視点】 ①環境負荷の低減性

②長寿命化への配慮

① Aグループ

- ・環境負荷の低減性では、各種再資源の活用や生ごみの再資源化その他各所の熱源採用等において、やや優れた提案がなされていた。
- ・長寿命化への配慮では、鋼材の耐久性やフレキ配管採用等において、やや優れた提案がなされていた。

② Bグループ

- ・環境負荷の低減性については、各種再資源の活用や生ごみの再資源化その他各所の熱源採用、杭工事の施工時等において、優れた提案がなされていた。
- ・長寿命化への配慮では、地下ピットや外構工事において、やや優れた提案がなされていた。

③ Cグループ

- ・環境負荷の低減性では、屋上緑化や設備熱源の提案において、やや優れた提案がなされていた。
- ・長寿命化への配慮では、床下配管ピットの提案等において、特段加点すべき点が認められなかった。

④ Dグループ

- ・環境負荷の低減性では、各種再資源の活用や生ごみの再資源化その他各所の熱源採用等において、やや優れた提案がなされていた。
- ・長寿命化への配慮では、メンテナンスフリーの資材の使用に、やや優れた提案がなされていた。

(5-2)周辺環境に適合した施設

- 【評価の視点】 ①地域と調和したデザイン
②周辺住民の生活環境の確保

① Aグループ

- ・地域と調和したデザインでは、施設配置や色彩等において、特段加点すべき点が認められなかった。
- ・周辺住民の生活環境の確保では、植栽計画において、やや優れた提案がなされていた。

② Bグループ

- ・地域と調和したデザインは、施設配置において、やや優れた提案がなされていた。
- ・周辺住民の生活環境の確保は、排水処理方法やポケットパークにおいて、やや優れた提案がなされていた。

③ Cグループ

- ・地域と調和したデザインでは、施設デザインにおいて、やや優れた提案がなされていた。
- ・周辺住民の生活環境の確保では、排水処理方法において、特段加点すべき点が認められなかった。

④ Dグループ

- ・地域と調和したデザインでは、施設デザインにおいて、やや優れた提案がなされていた。
- ・周辺住民の生活環境の確保では、排水処理方法において、やや優れた提案がなされていた。

(6)ライフサイクルコストが低減された施設

- 【評価の視点】 ①ランニングコストが低減された施設
②施設の耐用性・保全性に配慮された施設

① Aグループ

- ・ランニングコストが低減された施設については、省エネルギー調理システム、各LCC低減設備の提案において、やや優れた提案がなされていた。
- ・施設の耐用性・保全性については、各種設備や間仕切壁の採用工法等に、やや優れた提案がなされていた。

② Bグループ

- ・ランニングコストが低減された施設については、空調負荷の低減、蒸気熱源利用等各LCC低減の提案において、やや優れた提案がなされていた。
- ・施設の耐用性・保全性については、各間仕切壁の採用が提案されていた。

③ Cグループ

- ・ランニングコストが低減された施設については、空調負荷の低減、雨水再利用等各LCC低減の提案において、やや優れた提案がなされていた。
- ・施設の耐用性・保全性については、各種設備採用に特段加点すべき点が認められなかった。

④ Dグループ

- ・ランニングコストが低減された施設については、建材や照明負荷低減の提案等において、やや優れた提案がなされていた。
- ・施設の耐用性・保全性については、構造面や維持管理面等にも配慮した採用が、やや優れた提案と評価された。

(7)地元経済の活性化

【評価の視点】 ①地元経済活性化に寄与するための提案

① Aグループ

- ・配送車両の提案において独自性があり、各担当企業の地元企業採用等においても、優れた提案が見られた。

② Bグループ

- ・県産の工材の使用や各担当企業の地元企業採用等において、やや優れた提案が見られた。

③ Cグループ

- ・県産の工材の使用や各担当企業の地元企業採用等において、やや優れた提案が見られた。

④ Dグループ

- ・県産の工材の使用や各担当企業の地元企業採用等において、やや優れた提案が見られた。

(8)施工計画に関する性能

【評価の視点】 ①工事期間中の安全性や工期の遵守についての具体性

① Aグループ

- ・開所までのスケジュール、および自主性や安全性等に配慮された工程計画において、やや優れた提案が見られた。

② Bグループ

- ・開所までのスケジュール、および仮設面や安全性等に配慮された工程計画において、やや優れた提案が見られた。

③ Cグループ

- ・開所までのスケジュール、および仮設面や安全性等に配慮された工程計画において、やや優れた提案が見られた。

④ Dグループ

- ・開所までのスケジュール、および確認申請の手順確認等自主性や安全性等に配慮された工程計画において、やや優れた提案が見られた。

(9)施設整備におけるモニタリング

- 【評価の視点】
- ①施設整備段階において、市との連絡協議及び、自ら行う業績監視についての体制・手法の具体的性
 - ②工事監理について

① Aグループ

- ・独自の施工情報の共有化システムの提案や各担当企業のセルフモニタリング等、やや優れた提案が見られた。

② Bグループ

- ・各担当企業のセルフモニタリングに、やや優れた提案が見られた。

③ Cグループ

- ・複層モニタリングの実施に、やや優れた提案が見られた。

④ Dグループ

- ・設計から監理までの一貫したモニタリングに、やや優れた提案が見られた。

3 維持管理

(1) 質の高い維持管理

- 【評価の視点】
- ① 質の高い維持管理の実現の手法
 - ② 維持管理の具体的手法
 - ③ 維持管理業務のモニタリングの実施

① Aグループ

- ・ 質の高い維持管理の実現の手法については、予防保全を前提とした各維持管理の具体的な手法とそれを可能とする体制、および地元警備会社の緊急時の対応や危機管理体制などに、優れた提案がなされていた。
- ・ モニタリングについては、各維持管理担当者の複層的なモニタリング体制等、やや優れた提案がなされていた。

② Bグループ

- ・ 質の高い維持管理の実現の手法では、予防保全を前提とした各維持管理の具体的な手法や緊急時・非常時対応において、やや優れた提案がなされていた。
- ・ モニタリングについては、各維持管理担当者の複層的なモニタリング体制等に、やや優れた提案がなされていた。

③ Cグループ

- ・ 質の高い維持管理の実現の手法では、予防保全を前提とした各維持管理の具体的な手法や非常時対応において、やや優れた提案がなされていた。
- ・ モニタリングについては、各維持管理担当者の複層的なモニタリング体制等に、やや優れた提案がなされていた。

④ Dグループ

- ・ 質の高い維持管理の実現の手法では、予防保全を前提とした各維持管理の具体的な手法や非常時対応において、特段加点すべき点が認められなかった。
- ・ モニタリングについては、各維持管理担当者の複層的なモニタリング体制、分科会の開催等に、やや優れた提案がなされていた。

(2-1)事業期間中の維持管理のコストの縮減

【評価の視点】 ①事業期間中のコスト縮減のための運営上の支援

① Aグループ

・光熱水費の縮減等について、やや優れた提案がなされていた。

② Bグループ

・施設管理システムのデータ化等において、やや優れた提案がなされていた。

③ Cグループ

・床材のメンテナンス方法において、やや優れた提案がなされていた。

④ Dグループ

・空調計画等においては、特段加点すべき点が認められなかった。

(2-2)修繕関係業務

【評価の視点】 ①日常修繕業務

②修繕計画の立案

① Aグループ

・日常修繕業務については、修繕業務の項目表等を作成した具体的手法が示されるなどの、やや優れた提案がなされていた。

② Bグループ

・日常修繕業務については、修繕業務の項目表等を作成した具体的手法が示されるなどの、やや優れた提案がなされていた。

③ Cグループ

・日常修繕業務については、修繕業務の項目表等を作成した具体的手法が示されるなどの、やや優れた提案がなされていた。

④ Dグループ

・日常修繕業務については、修繕業務の項目表等を作成した具体的手法が示されるなどの、やや優れた提案がなされていた。

(3)開設準備補助作業

【評価の視点】 ①開設準備作業の具体的な提案

① Aグループ

- ・本施設の前定供給食数のリハーサルが設定されるなどの、優れた提案がなされていた。

② Bグループ

- ・3段階のリハーサルを設定するなどの、やや優れた提案がなされていた。

③ Cグループ

- ・複数回の調理リハーサルを設定するなどの、やや優れた提案がなされていた。

④ Dグループ

- ・複数回の調理リハーサルを設定するなどの、やや優れた提案がなされていた。

4 運営

(1-1)質の高い運営計画の実現の手法

- 【評価の視点】
- ①質の高い運営計画の実現するための体制
 - ②運營業務の具体的手法
 - ③配送車について

① Aグループ

- ・質の高い運営計画の実現するための体制では、確実な体制、緊急事態性などに確実で有効性の高い提案がなされていた。
- ・運營業務の具体的手法では、安全・確実な配送計画の他に独自性のある配送車の活用などに確実で有効性の高い提案がなされていた。
- ・配送車については、確実な配送が可能となる配送車の規格・台数の提案が、やや優れた提案と評価された。

② Bグループ

- ・質の高い運営計画の実現するための体制では、確実な体制、緊急事態性などに、やや優れた提案がなされていた。
- ・運營業務の具体的手法では、安全・確実な配送計画などに確実で有効性の高い優れた提案がなされていた。
- ・配送車については、確実な配送が可能となる配送車の規格・台数の提案が、やや優れた提案と評価された。

③ Cグループ

- ・質の高い運営計画の実現するための体制では、確実な体制などに、やや優れた提案がなされていた。
- ・運營業務の具体的手法では、安全・確実な配送計画などに確実で有効性の高い優れた提案がなされていた。
- ・配送車については、確実な配送が可能となる配送車の規格・台数の提案が、やや優れた提案と評価された。

④ Dグループ

- ・質の高い運営計画の実現するための体制では、確実な体制、緊急時の対応などに、やや優れた提案がなされていた。
- ・運營業務の具体的手法では、安全・確実な配送計画などに確実で有効性の高い提案や、優れた提案がなされていた。
- ・配送車については、確実な配送が可能となる配送車の規格・台数の提案が、やや優れた提案と評価された。

(1-2) 運営のモニタリングの手法

【評価の視点】 ① 運營業務のモニタリングの具体的な手法

① Aグループ

- ・質の高い運営計画の継続が可能となる具体的なモニタリング手法が複層的に提案され、これらはやや優れた提案と評価された。

② Bグループ

- ・質の高い運営計画の継続が可能となる、具体的なモニタリング手法が提案され、これらはやや優れた提案と評価された。

③ Cグループ

- ・質の高い運営計画の継続が可能となる、具体的なモニタリング手法が提案され、これらはやや優れた提案と評価された。

④ Dグループ

- ・質の高い運営計画の継続が可能となる、具体的なモニタリング手法が複層的に提案され、これらはやや優れた提案と評価された。

以 上